「情報発信　健康教育研究委員会」

研究テーマ

自分の心とからだで、ありのままの自分、友だちを受け入れ、
自己決定していく力を育む支援のあり方

公開授業日

日時	平成18年11月15日（水）第5校時（13:50~14:35）
授業学級	3年敬組（男子15名　女子17名　計32名）
題材名	「Teeth マスター」になろう　2
授業者	大久保　欽章　教諭
指導者	長野ろう学校　教頭　　米持　絹子　先生

この時間32名の全ての児童が、授業を参観させていただいている我々までもが、あきることなく終始「かむ」ことを意識していた1時間でした。学習課題「噛む力をつけるために、おやつは、どんなものをどのように食べたらよいか考えよう」を持って、児童たちは取り組みました。

「噛む力をつけるおやつチーム」の発表は、　おせんべい　ほしいも　するめ　もち　野菜スティックチームに分かれてそれぞれが調べてきた噛む力をつけるのにふさわしい食材として自信を持って発表していました。　すばらしい姿でした。さあ、お待ちかね試食の時間です。わずか10分間。試食しながらその感想も記入していくのですが、試食する側の児童たちはお目当ての食材にかけつけ早速食べ（かみ）始めました。我々にも、「どうぞ、よく噛んで食べてくださいとおもちを持って来てくれた児童もいます。その笑顔のさわやかなこと。

食材を進める児童たちも、「もっとよくかんで。」と試食する側の児童達を促していました。するめのところでは、女の子達に促され飲み込むまでに101回噛んだ児童もいました。

最後のめあて（どんなおやつをどのように食べていこうと思ったか）の発表では・・・
「お母さんに頼んで固い物柔らかい物のバランスを考えて出してもらう」
「すごくよくかむ。ぼろぼろになるまでかむ。細かく噛む。よく噛む」
「おもちは発表してくれたみたいにのりを巻く」（児童たちの気づきから、のりをまくことによりさらに噛むことが必要になる為）
等々「よく噛む」ことへの更なる意識づけにつながった授業でした。その日の帰宅後から一週間、早速児童達は「おやつカミカミ作戦」にチャレンジです。

指導者の米持絹子先生からは、「いい提案をしている授業を見せていただいた」とありがたいお言葉をいただきました。米持先生曰わく「授業者の先生には、ただならぬものを感じていた」そうです。東京都教育委員会が掲げている6つの授業力が、　使命感・熱意・感性　　児童理解・生徒理解　　統率力　　指導技術　　教材開発・教材研究　指導評価だそうですが、授業者の先生に感じた、ただならぬものとは、　と　だそうです。ただならぬ大久保先生のご指導のもと、すばらしい発表をしてくれた3敬のみなさんは、やはりただならぬ児童たちでした。 本当にありがとうございました。 お疲れ様でした。